

3月16日～20日の日程で福島連帯キャラバンに参加してきました。私は初めての参加だったので、全国の仲間達に合う不安や緊張でこの日を迎えました。

まず初日に東京の中央本部から横浜支部の宣伝カーで9人ほど乗り合わせて福島を目指しました。福島に到着したらパルセいいざかで2024年原発のない福島を！県民集会に参加しました。会場も凄い人数で参加されている人達の熱気を感じとれました。その後に結団式が行われて私も気が引き締まったと思います。結団式が終わり車で2時間近くかけていわき市の方に移動してホテルでチェックインして夕食懇親会がありました。この時に一人一人自己紹介があり全国の仲間達の顔と名前を覚えてとても楽しい懇親会となり初日を終わりました。

二日目にフィールドワークで被災地を回りました。私は正直な所、少し旅行気分できていた所があったのですが実際に被災地を自分の目で見た際にあまりの衝撃で言葉がでませんでした。地震や津波により倒壊しかけた請戸小学校、その周りは津波に流されて何キロにも渡る荒野、テレビやニュースで何となくしか知らなかったのですが実際に現地を見たらその凄さに何も知らなかった自分が恥ずかしくさえあったと思います。その後に原子力災害伝承館を見学してホテルに戻り二日目を終わりました。三日目は実際に被災された津島原告団の方々の家を見学させてもらい、その後で津島公民館の方でお話を聞かせて貰いました。見学させてもらった家も地震当初のままで、そこから中に物が倒れて床はボロボロで凄くリアルさを感じとれました。聞かせてもらったお話も被災直後の話や大変さなど、地震を体験してない私でも恐ろしく感じました。原告団の方々と別れてこの日は茨城まで移動してホテルに着いて次の日の要請行動の班ごとにミーティングを行い三日目を終わりました。

四日目は班ごとに別れて自治体要請行動を行いました。私が訪れた自治体は笠間市役所、茨城町役場、銚田市役所、大洗町役場、県庁と5カ所を回りました。この中で私は大洗町役場で要請文を読ませていただき、意見質問では副町長に質問をしました。原発再稼働について賛成か反対かを質問した所、あまり煮え切らない答えが返ってきたため、今回東北の仲間の想いを聞いて脱原発で動いていた私達にとって少し失礼な答えにも聞こえ、私も少し口調が強くなり反論したのを覚えています。この後にそれぞれの班が全部集まり最後に水戸市役所を訪れて要請行動を行いました。今回は団長の渡辺さんが水戸市長に要請文を読み上げ、その後いくつか質問をしましたがここでもまた納得するような回答は貰えずにみんなモヤモヤした気持ちで水戸市役所を後にしたと思います。この日は最後の夜という事もあり夕食懇親会が行われました。みんなそれぞれこの何日かの出来事を話したり仲良くなった人も多くなって楽しく過ごしてこの日を終わりました。五日目最終日は東京に移動して御茶ノ水にある連合会館で「さよなら原発」全国集会の事前打ち合わせをして代々木公園に向かいました。全国集会ではステージ上で団長を中央にみんなで一列に並び脱原発に向けて熱い想いを伝えられたと思います。終わった後に団長が今回の福島キャラバンの想いを涙

しながらみんなにお礼を言った時は私もとても感動して泣きそうになりましたが何とか堪えて聞いていました。みんなで集合写真をとり飛行機の都合上帰る人もいましたが、私はこの後にデモ行進に参加しました。全港湾は一番先頭で旗を持ちながら行進したり宣伝車でシュプレヒコールをしたりとても団結できたと思いました。デモ行進を終えて各自解散して今回の福島連帯キャラバン全行程が終了しました。

私は今回初めてキャラバンに参加させてもらいましたが改めて思った事が、やはり何事も実際に参加して目で見て肌で感じて、を行わないと何もわからないと思いました。実際私もこの五日間で全部理解したかと聞かれると正直わかりません。そのぐらい東北の方々が抱える問題や深い傷跡は計り知れません。私に何ができるだろうと考えた時に物理的な事があるかもわかりません。私が思った事はまずはこの福島を忘れずに皆に伝え続け、風化させない事から始めようと思いました。風化させずに伝え続ければ、ちゃんと想いは届きそこからまた何か始められると思います。今回の五日間の経験は私は一生忘れないと思います。それぐらい中身が凝縮された五日間でした。機会があればまたキャラバンに参加して全国の仲間達と団結して行きたいと思います。最後に今回の福島連帯キャラバンの受け入れや準備、お世話までして頂いた東北の青年部のみなさん五日間本当にお世話になりました。みんなの熱意や気持ちは自分の支部に持ち帰り伝え続けて行こうと思います。お疲れ様でした。

全港湾九州地方長崎県支部 佐世保港湾分会 三徳屋 仁